



2011～2012年度 国際ロータリーテーマ
Reach Within to Embrace Humanity
 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ●副会長 牧野國雄 ●幹事 鶴井雄仁 ●会報委員長 小野 学 (2011～2012年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2819回 2011年12月15日(木) ホテルサンライフガーデン 週報第2819号

クリスマス家族会



今年のサンタ&トナカイ



杉山善弥会長開会挨拶



落合市長のご挨拶



乾杯：小飯塚エレクト



サンタからプレゼント



ギターアンサンブル・トゥインクルの演奏

<委員会報告>

- 親睦委員会 清水孝一委員長

クリスマス家族会

本年のクリスマス家族会は、昨年につき、ホテルサン

ライフガーデンにて開催しました。落合市長を始め6名のゲストを含め、74名をお迎えしました。会場は、ゆったりとお過ごし頂く為に同ホテル最大の「江陽の間」にバージョンアップし、内容は、全体的に落ち着いたトーン

<出席報告>

本日12月15日	会員数 57名	対象者 51名	出席者 57(51)名	出席率100.00%			
前々回12月 1日	会員数 57名	対象者 51名	出席者 34(29)名	出席率 56.86%	MUP11名	計 40名	修正率 78.43%

ンで演出させて頂きました。具体的には、冒頭のキャン
ドル点火、杉山会長ご挨拶、小飯塚会長エレクトによる乾
杯の音頭に続き、地域グループ「ツインクル」によるギ
ター演奏、ビンゴ、次にクラブの一年を振り返るスライド
ショー、そして出席者全員での合唱で締めくくりました。

何よりクラブ会員各位のご出席と沢山の協賛品の提供
を含むご協力でつつがなく終了しました。又、今回も素
敵な会場と美味しい料理を提供して下さった嶋津会員を
筆頭とするサンライフの皆さんに感謝です。最後に我が
親睦委員会のメンバーに「お疲れ様」です。来年はサン
タの長靴を二組新調しなければなりませんね。

今年は、日本も世界も厄年だったように思いますが、
来年はきっと素晴らしい年になるよう、そして会員各位、
ご家族に星の数ほどの幸せがふりそそぎますよう、親睦
委員会一同祈念して報告と致します。ありがとうございました。

<幹事報告>

◎「子どもが選ぶひらつか五百選」作品集の展示につ いて(ご案内)

日 時：2012年1月19日(木)～24日(火)
10:00～18:00(24日は15:00まで)
会 場：ひらつか市民プラザ
(平塚市観光フェスティバル会場)

*昨夏、当クラブは協賛しました。

◎第39回平塚市緑化まつり(日程案内)

期 間：2012年4月28日(土)・29日(日・祝)
会 場：平塚市総合公園
*詳細は来年お知らせ致します。

◎タウンニュース本日発行の「人物風土記」に、当クラ ブ米山奨学生ルキラック・トリッティマー(モーさ ん)が載っています。

先日12/1の第30回東海大学外国人留学生による日
本語スピーチコンテストで学長賞受賞についてのイン
タビューを掲載致します。

心の「どこでもドア」開ける

〇…『「そうですね」という日本語、いいですね』。スピー
チコンテストの途中、次に話すべき言葉を一瞬忘れてし
まったが、とっさに思い出した「そうですね」で場をつ
なぎ、乗り切った。出場3回目にしてつかんだ悲願の優
勝。「達成感でいっぱいになりました」と、笑顔がはじ
ける。観客の投票によって決まる特別賞も受賞した。「建
前ではなく、人がきちんと評価してくれた賞。すごう
れしかった」

〇…10歳のとき、母国のタイで放映されていた“ド
ラえもん”に夢中になった。「原作者は何て頭がいいの
だろう。こんなふうに頭がよくなるには、勉強するしか
ない」。そして、いつしか日本の教育を受けたいと思う
ようになった。18歳で留学し、日本語学校を経て東海

大学に入学。現在は、同大学院で日本語教育学コースを
選択している。「ドラえもんのおかげで、日本に来ること
ができました。

〇…スピーチのテーマは大好きなドラえもんにあやかり、
「どこでもドアはどこかな」。どこでもドアを心の扉
に見立て、人と人が繋がることの大切さを伝えた。日
本に来て間もない頃は、外見は日本人に見られるため、
話すと相手の態度が変わるのが嫌で心を開けなかった。
だが、「日本語が上手くなるためには、自分から話しか
けなければ」と奮い立ち、殻を破った。積極的に「ど
こでもドア」を開くことで、人と心が通う。自らの経験を
踏まえて語ったスピーチには、「暗いニュースが多い中、
皆を明るくしたい」との思いが端々に滲んだ。

〇…来年はいよいよ卒業。就職先は、バンコクの国際
交流基金に決まっている。「留学を心配していた親をやっ
と安心させることができます」。去るのが名残惜しくも
ある日本。もうひとつ、好きな言葉がある。相手に対し
て、『頑張ったね』という意味が込められていて、いい
表現なのだという。帰り際、お辞儀をしながら丁寧に言っ
た。「今日はお疲れ様でした」。

<メイクアップ> 11名

成瀬、杉山善、宅野、小野、桐本、常盤、鳥海、
清水雅、白石、柳川、清水孝 各会員

<ゲ ス ト>

ご招待6名、ご家族・ご友人28名

- 平塚市長 落合克宏様
- 平塚学園高等学校 IAC 顧問 富樫正春先生
会長 糟谷 俊君、副会長 駒木根 怜君
- 平塚青年会議所 理 事 長 前田孝平様
直前理事長 秋山 智様

会員家族/大垣会員、奥様とお孫さん2名/桐本会員、
ご主人とご友人/清水雅会員、お母様と奥様/宅野会
員、奥様とお嬢様2名/西村会員ご友人/福澤会員、
奥様とご家族5名とお孫さん5名/福山駿会員、奥様
/牧野会員、奥様とお孫さん3名

<本日のスマイル> 11名

<卓話・行事予定>

- 1月19日(木) 成瀬正夫会員
- 26日(木) シャンソン歌手 香田夏織様
- 2月 2日(木) 創立55周年記念例会
- 9日(木) プログラム委員会(新会員卓話)
- 16日(木) →18日(土) 第8グループ IM

<市内例会変更>

平塚西 1/18(水) 夜間例会(若葉会合同新年会)